



# ボランティア通信「きぼう」

2022年1月号

発行：NPO法人在宅ホスピス  
ボランティアきぼう

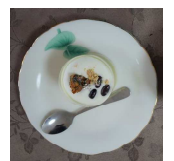
山梨県北杜市高根町長澤 2467-11 電話 090-8455-3264

## 北杜での活動 一步一步進めています

昨年8月25日に北杜市で再出発したNPO法人ボランティアきぼうは、コロナ禍の中、感染防止に配慮しながら、少しずつですが活動を進めています。つながるサロンはこれまで毎月開催し、ボランティア養成講座は11月に開催しました。今後は養成講座の第2回や講演会の開催を予定しています。

### つながるサロン

つながるサロンは、一人暮らしの方や家で療養している方とその家族を対象に、第3金曜日を定例に毎月1回開催することを計画して、9月から12月までに4回開催し、毎回3~4名の方が参加してくださいました。ボランティア2~3名が東京から北杜に行き、サロンの料理を作ったり、会場のセッティングをしました。また、デザートは以前のように野本さんが作ってサロンに届けてくださいました。参加者がデザートを作って持参してくださったこともあり、サロンのスタイルは東京でのサロン・ド・パリアンとほぼ同じです。

ボランティア野本さん  
の手作りデザート参加者の方の  
手作りデザート

10月15日 つながるサロンでのお話



サロン終了後、川越夫妻とボランティアが清里で



独唱する参加者

昨年12月13日(金)のサロンでは、北杜での第1回ボランティア養成講座を受けたボランティアも参加して、つながるサロン・クリスマス会を開催しました。

参加者のお一人が「アベマリア」を独唱してくださり、その美しい響きに皆感動し、拍手喝采でした。



12月13日 つながるサロン・クリスマス会

お食事をしながら、参加者の皆が「今年一番うれしかったこと」を一人ずつお話ししました。あるボランティアは「ボランティア活動が再開できたことが一番うれしい」とのこと。移転やコロナ禍を経ながらもNPO法人きぼうの活動が再開できて本当によかったと思います。

その後、手作りボランティアが作ったクリスマスプレゼントが参加者や新しいボランティアに贈られました。1時間ちょっとのクリスマス会でしたが、とても楽しいひとときでした。

## 北杜での第1回ボランティア養成講座 に9名参加

11月20日(土)にNPO法人きぼうが北杜で初めて開催するボランティア養成講座があり、9名の方が参加されました。最初に川越博美代表から、NPO法人きぼうが目指している、最期まで自宅で暮らしたいと願う方や在宅療養中の患者さん・そのご家族の暮らしを支えるボランティア活動について、次にだんだん会代表の宮崎和加子さんからボランティアの必要性についての話がありました。東京のボランティアから中村景子さんと三木尚子さんがコメンテーターとして参加し、これまでの活動の様子をお話しました。参加した9名全員がNPO法人きぼうのボランティアを希望され、2月19日の第2回ボランティア養成講座を受講後にボランティアとして登録し、本格的な活動を始めます。これに先立ち、12月の“つながるサロン・クリスマス会”で料理作りや会場のセッティングのお手伝いをしていただき、活動の一端を知っていただきました。料理作りが得意な方もいらっしゃるようですので、今後の活動が楽しみです。



ボランティア養成講座の様子

## 手作りボランティア 東京で活動再開

手作りボランティアの皆さんが東京での活動を再開しました。これまでの手作りメンバーである青木さん、綾部さん、神馬さんに加え、関口さんも応援してくれています。今のところ活動場所は、パリアンで看護師やボランティアをされていた横田さんのご厚意で使わせていただく佃の一軒家で、10月から毎月1回定期的に活動しています。12月のつながるサロンのクリスマス会での参加者や北杜での在宅での患者さんに贈ったクリスマスプレゼントはこの手作りグループの作品です。講演会で展示する作品も早くも検討しています。



手作りボランティアとクリスマスプレゼント

### 横田家の宝物



横田家に伝わる櫃の表側と背中側

手作りボランティアの活動拠点にさせていただいている横田さんのご実家の2階には年代不詳の櫃(ひつ)があります。この櫃には“丸に隅立四つ目”という家紋と横田の名前が入っていました。この家紋は目結(めゆい)紋と呼び、古くは近江源氏が使っていたという由緒ある家紋です。櫃の表面は網代編みの彫刻が施された漆塗り(と思われる)で、横田家の宝物として長く受け継がれてきたことでしょう。

### 編集後記

NPO法人きぼうの北杜での活動は順調な滑り出しをしています。つながるサロン、ボランティア養成講座が始まり、講演会もコロナの感染状況をみながら開催します。◆そして、再開が心配されていた手作りボランティアが再開したというニュースは、私たちを一層元気づけてくれました。◆新しい年に新しい仲間が増え、活発な活動状況をお伝えできますこと、NPO法人きぼうが一層発展しますことを願っています。(江口)